

～「川崎港」利活用によるサプライ&デマンドチェーンのすり合わせ～ 特に、北海道;苫小牧港&石狩新港 や 東北6県;仙台港 に向けて

川崎港利活用協議会

【事業実施背景】

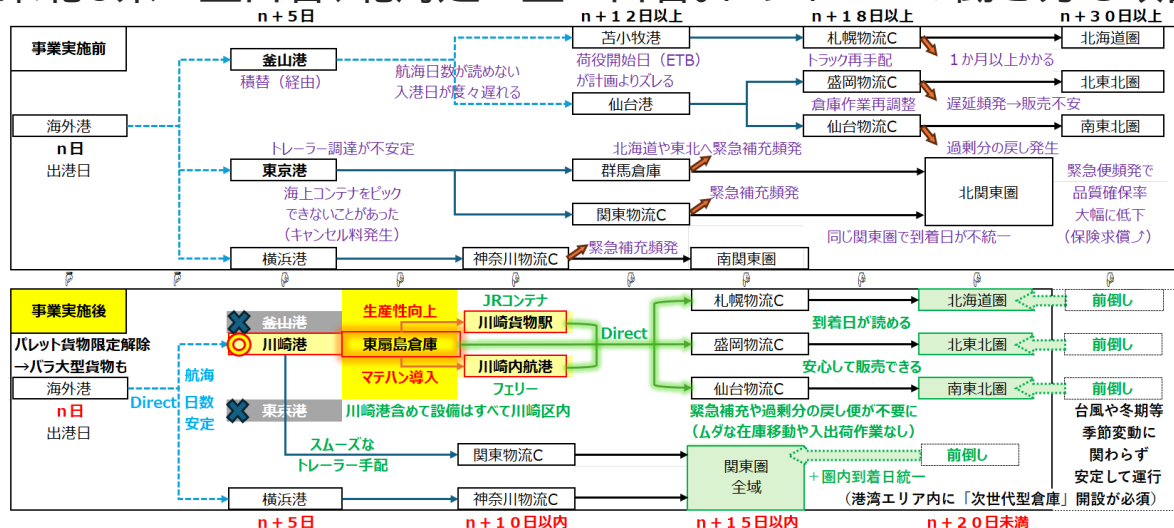
海外から国内地方港へ家電や家具を海上コンテナで輸入する際、航海日数が2週間前後かかり、冬期に韓国釜山港を経由すると実質1か月以上かかることがあり、国内で販売された商品を自宅に届けられる日を指定できず、販売機会ロスが散見されていた。一方、東京港や横浜港では、ヤード内混雑によって、コンテナピックの時間が延び、ドライバー待機時間が2時間を超えてきていた。

事業内容

Point



リードタイムの見える化を図るため、釜山港を回避し、直航便を優先。さらに、港湾混雑を回避するため「東京港」分を「川崎港」へシフト。東扇島港湾倉庫に輸入した商品を接続のしやすい 同じ川崎区内のJRコンテナ(川崎貨物駅)やフェリー(プリンス海運)に積み替えし東北6県へ翌日着、北海道へ翌々日着。ドライバーの働き方も改善。



協議会構成員8社

三井倉庫ロジスティクス(株) 神奈川臨海通運(株)
 フジトランスポート(株) (株)シー・リンク
 (株)ニュートレーディングブリッジ 日本高速輸送(株)
 (株)村山商店 (株)タクテック
 (オブザーバー: 第一貨物(株)、小林運送(株)、川崎市港湾局ほか)

想定事業実施効果

【サプライチェーンとデマンドチェーンの見える化】
 北海道や東北6県のお客様が購入された商品をご自宅にお届けするお約束日時の順守率: **100%**

【海外港からお客様宅お届けまでにかかる日数】
 約24日～約30日 → **20日未満**(全国標準化)

【川崎港でのコンテナトレーラー手配の容易さ】
 輸入通関許可後5日以内の段取り完遂率: **100%**

【海上コンテナをピックするために必要な時間】
 東京港; 平均2時間以上 → 川崎港; 最大 **10分**
 トレーラードライバーの拘束時間の短縮: **100%**
 2時間以上待機した際にかかるペナルティ率: **0%**